



式典に向かう新成人

27議案を原案可決 平塚市まちづくり条例など

12月定例会

審議の概要

平成十九年市議会十二月定例会は、十一月二十七日から十二月二十日まで、会期二四日間で開催しました。

今定例会では、まちづくりの基本理念を定め、都市の健全な発展と秩序ある整備を図る「平塚市まちづくり条例」を制定する議案をはじめ、平成二十年四月に予定されている市の組織改革に伴い、健康・こども部の設置および部の名称変更等を行うため、「平塚市部設置条例」を全部改正する条例や一般会計および特別会計の補正予算、教育委員会委員の任命に同意を求める議案など二七案件が市長から提案され、報告を除く二六議案を審議し、いずれも原案どおり可決しました。

議員提出の会議案では、本市議会初の政策的条例である「平塚市民のこころと命を守る条例」を審議し、原案どおり可決しました。

なお、十月の決算特別委員会において審査を行った平成十八年度の一般・特別会計および病院事業の各決算を認定しました。

一般会計補正予算 三億八五二万四円余を追加

今定例会では、一般会計補正予算三億八五二万八〇〇〇円をはじめ、特別会計の補正予算が市長から提案されました。議会では、いずれも原案どおり可決しました。

今回の一般会計補正予算の主な内容は、民生費では、重度障害者医療費支給関係経費等補助費について追加計上し、放

課後児童健全育成事業経費では豊田分庁舎の改修経費等を計上しました。

衛生費では、後期高齢者医療制度に伴うシステム開発委託料等を計上しました。

農林水産業費では、湘南ライスセンターの整備助成金を減額措置しました。土木費では、一般市道改良事業等について用地取得や移転補償に係る経費を追加計上し、西口東地自転車・バイク駐車場整備に伴う設計委託料等を計上しました。教育費では、小・中学校の嘱託員等賃金および中央公民館の冷暖房設備や空調機器の修繕に係る経費を追加計上しました。

市民のこころと命を守る条例 議員が提案し可決

近年、国内では年間三万人を超える自殺者があらはれ、平成十八年十月に自殺対策基本法を施行して総合的に自殺対策を図っています。

新年のごあいさつ 市議会議長 落合 克宏



新年明けましておめでとうございます。

昨年は参議院議員選挙や統一地方選挙が行われ、国政、市政ともに新たな枠組みが生まれました。

紙面の構成のご案内

12月定例会 議案の審議結果	1面
行財政全般	2面
まちづくり	3面
福祉	4面
行政一般	5面
決算〈決算特別委員会〉	6面
発言通告	7面
教育・経済	8面